

2022 年度車載組込みシステムフォーラム (ASIF) 総会・勉強会活動報告会・講演会 議事次第

2022 年 4 月 22 日(金)

14:00~16:30 栄ガスビル 5階 ガスホール

14:30~16:30 オンライン (Zoom Meeting)

I. 総会 14:00-14:30

1. 開会

2. 総会議案

第 1 号議案:2021 年度 事業報告 (2022 総会資料 No.1)

第 2 号議案:2021 年度 収支決算 (2022 総会資料 No.2)

第 3 号議案:役員の選任 (2022 総会資料 No.3)

第 4 号議案:2022 年度 事業計画 (2022 総会資料 No.4)

第 5 号議案:2022 年度 収支予算 (2022 総会資料 No.5)

3. 閉会

II. 2021 年度勉強会・ETロボコンクラブ・九州活動報告、2022 年度勉強会概要案内 14:30-15:15

2021 年度・2022 年度副会長(勉強会担当)、各勉強会担当リーダー、ETロボコンクラブリーダー

- ・ 勉強会趣旨説明
- ・ 2021 年度勉強会・ET ロボコン活動内容・ASIF九州活動内容
- ・ 2022 年度勉強会概要案内

III. 特別講演 15:30-16:30

「自動運転の安全性論証の方策と法制化・標準化

～独 PEGASUS ファミリのその後と最新国際動向をめぐる日本の戦略～」

公益社団法人自動車技術会

新たなモビリティ社会に向けたイノベーションガバナンス検討委員会 幹事

株式会社デンソー 技術開発推進部 国際標準渉外室 菅沼 賢治 氏

<講演要旨>

ドイツ PEGASUS ファミリの VVMethod・SetLevel や各種コンソーシアム活動の成果は独政府の支援を得て標準化や法制化の国際的な議論へ多大なる影響を与え始めている。具体的な事例を交えながら、法制化・標準化による国際的な競争ルール形成と国際市場における日本自動車産業への影響について議論する。

<講師略歴>

(株)デンソーに入社後、主に自動車向けソフトウェアプラットフォームおよびソフトウェアプロセスを対象に社内での標準化を進めると同時に、μITORN、OSEK、AUTOSAR、JASPAR、など国内外での標準化活動を推進。現在、内閣府 SIP-adus 国際連携 WG 構成員、同知財戦略検討委員会外部有識者、自動走行ビジネス検討会安全性評価戦略 WG 委員、同人材戦略 WG 委員、自動車工業会自動運転安全性評価分科会オブザーバ、自動車技術会自動運転標準化検討会委員、同共同研究センターAD 総合信頼性検討委員会幹事。

以上

車載組込みシステムフォーラム (ASIF) 2021 年度事業報告 (案)

車載組込みシステムフォーラムにおいて、2021.4.1～2022.3.31 に実施した事業は次の通り。

1. コミュニティ作り・運営 (会則第3条1号関連)

(1-1) 一般向けのウェブサイトの運営・保守

車載組込みシステムフォーラムのウェブサイト (<http://www.as-if.jp>) と会員向けメーリングリストを運営・保守した。ウェブサイトには、セミナーの様子等、活動状況を随時掲載した。

(1-2) 会員向けのウェブサイトの運営・保守

会員専用のページを作成し、セミナーで配布された資料のダウンロードを可能にした。また、会員情報管理システム及び勉強会等で使用するファイル共有システムを管理した。

2. 調査・情報発信 (会則第3条2号関連)

(2-1) 勉強会活動

(ASIF 中部)

車載ソフトウェア開発に必要な、基本的な知識や最先端技術の習得・スキル向上を目的とし、年間2ラウンド、全13テーマを会員限定で開催した。

【第1ラウンド】(2021年6月～9月開催)

テーマ名	リーダー企業	形式	開催回数	開催時間	開催形態または開催場所・人数
車載開発プロセス (Automotive SPICE V3.1～ソフトウェアエンジニアリング～)	ビジネスキューブ・アンド・パートナーズ(株)	レクチャー形式・演習形式	4回	18:30～20:30	オンライン・10名
車載セキュリティ (ISO/SAE 21434 概要) <基本>	ビジネスキューブ・アンド・パートナーズ(株)	レクチャー形式・演習形式	3回	18:00～19:30	オンライン・10名
Python を用いたディープラーニング	(株)クレスコ	レクチャー形式・演習形式	4回	18:00～20:00	オンライン・21名
クラウドで動かす AI (画像/音声認識、自然言語処理)	(株)クレスコ	レクチャー形式・演習形式	3回	18:00～20:00	オンライン・20名
アジャイル開発 (スクラム)	(株)東海理化	レクチャー形式	4回	17:30～19:30	オンライン・10名

【第2ラウンド】(2021年11月～2022年2月開催)

テーマ名	リーダー企業	形式	開催回数	開催時間	開催形態・人数
CAN 通信仕様	アイシン・ソ	レクチャー形式	2回	14:30～	オンライン

	フトウェア(株)			17:30	・29名
ROS	(株)ヴィッツ	レクチャー形式・演習形式	3回	18:00～ 20:00	オンライン ・11名
MISRA-C2012	アイシン・ソフトウェア(株)	レクチャー形式	1回	14:30～ 17:30	オンライン ・19名
アジャイル開発(スクラム) 入門	(株)アドヴィックス	レクチャー形式	3回	18:00～ 19:30	オンライン ・12名
機能安全規格 (ISO26262 新バージョンの概要と実践)	ビジネスキューブ・アンド・パートナーズ(株)	レクチャー形式	3回	18:30～ 20:30	オンライン ・8名
ラズベリーパイで動かすエッジAI	(株)クレスコ	レクチャー形式・演習形式	3回	18:00～ 20:00	オンライン ・10名
Unreal Engine 4 (UE4) 入門	(株)ヴィッツ	レクチャー形式・演習形式	4回	18:00～ 20:00	オンライン・ 10名
車載セキュリティ (ISO/SAE 21434 概要) <アドバンス>	富士通(株)	レクチャー形式	2回	18:00～ 19:30	オンライン ・11名

(ASIF 九州)

【セミナー】下期中に1回開催

開催日	開催時間	場所・人数
2022. 1. 17	16:00～17:15	オンライン (Zoom) ・参加者 32名
「EV プラットフォーム+ (プラス) が加速する次世代モビリティ・まちづくり」 講師：一般社団法人 EMOBIA 副代表理事兼事務局長 小林 英次 氏		

3. セミナー企画・開催 (会則第3条3号関連)

(3-1) スキルアップセミナーの開催

スキルアップセミナー (車載ソフトウェア開発初級技術者向け) を6回開催した。

第1回 第1部	2021年6月23日(水) オンライン (Zoom Meeting) テーマ「車載ネットワークの基礎 (車載 Ethernet/CAN/LIN)」 「はじめての CAN」 講師：(株)アイシン 古河 晃 氏 「はじめての LIN」 講師：(株)東海理化 稲垣 修 氏	13:30～15:00 参加者 309名 (内 非会員 11名)
第1回 第2部	2021年7月21日(水) オンライン (Zoom Meeting)	13:30～15:15 参加者 289名 (内 非会員 13名)

	<p>テーマ「車載ネットワークの基礎（車載Ethernet/CAN/LIN）」 「車載Ethernetの初歩」 講師：(株)ネットワークマスタ 藤澤 行雄 氏</p>
第2回	<p>2021年10月22日（金） 13：30～15：45 オンライン（Zoom Meeting） 参加者292名（内 非会員2名） テーマ「車載OSとモデルベース開発について」 「Vehicle OSの基盤となるAUTOSAR AdaptiveとOS技術」 講師：イーソル(株) 権藤 正樹 氏 「モデルベース開発による高品質な車載ソフトウェア開発・MBD基礎」 講師：富士通(株) 小野寺 純一 氏</p>
第3回	<p>2021年11月29日（月） 13：30～15：45 オンライン（Zoom Webinar） 参加者225名（内 非会員1名） テーマ「車載セキュリティについて」 「車載セキュリティの基礎技術」 講師：ルネサスエレクトロニクス(株) 山中 聡 氏 「ストレージの物理障害対応と車載機器へのデジタルフォレンジックの活用事例」 講師：AOSデータ(株) 清本 光彦 氏、小菅 大樹 氏、清 利樹 氏</p>
第4回	<p>2021年12月21日（火） 13：30～15：45 オンライン（Zoom Webinar） 参加者137名（内 非会員1名） テーマ「クルマの電動化への取り組みについて」 「クルマの電動化の動向と求められる技術」 講師：(株)ピューズ 岸 繁男 氏 「“First One Mile Mobility”によるサービス戦略」 講師：(株)FOMM 佐藤 俊 氏</p>
第5回	<p>2022年2月21日（月） 13：30～16：00 オンライン（Zoom Webinar） 参加者149名（内 非会員3名） テーマ「PoC（Proof of Concept）に最適！安・早・易の環境活用事例」 「ラズパイを使った車載CAN情報収集とクラウド利用の実験をしてみた！」 講師：(株)サニー技研 濱邊 真也 氏 「Raspberry PiとPoCの進め方」 講師：(株)クレスコ 豊 裕介 氏 「ラズパイで”AUTOSAR Adaptive Platform”を学習しよう」 講師：東海ソフト(株) 竹内 健 氏 「M5Stack活用事例のご紹介」 講師：日本ユニシス(株) 齊藤 哲哉 氏</p>
第6回	<p>2022年3月2日（水） 14：45～17：00 オンライン（Zoom Webinar） 参加者182名（内 非会員0名） テーマ「自動車業界におけるセキュリティ、脱炭素の最新動向」 「自動車サイバーセキュリティとJASPARの取り組み」 講師：JASPAR 本田技研工業(株) 橋本 寛 氏 「カーボンニュートラル ～脱炭素社会の欧州自動車産業のゆくえ～」 講師：Hagiwara Electric Europe GmbH 西村 重樹 氏</p>

(3-2) 応用技術セミナーの開催

本年度実施した応用技術セミナー（上級技術者向け）はなし。

(3-3) PR セミナーの開催

本年度実施した PR セミナーはなし。

(3-4) 車載組込みシステムフォーラム 2022

2022 年 1 月 31 日（月）10：00～16：40

開催形態：オンライン（Zoom Webinar）

参加者：289 名（内 非会員 25 名）

主催：車載組込みシステムフォーラム

共催：名古屋大学 未来社会創造機構 モビリティ社会研究所

後援：（一社）組込みシステム技術協会 中部支部

組込みシステム産業振興機構

NPO 法人 TOPPERS プロジェクト

（公社）自動車技術会

講演タイトル	講師
「車載組込みシステムの開発の現状と ASIF の活動」	車載組込みシステムフォーラム会長 名古屋大学大学院 高田 広章 氏
「クルマを取り巻くセキュリティと J-Auto-ISAC の活動紹介」	（一社）Japan Automotive ISAC（マツダ株） 山崎 雅史 氏
「車載電子部品 B C P の業界標準ガイドライン」	（公社）自動車技術会 若林 哲明 氏
「半導体の供給不足の現状と今後の見通し」	ネットグラフサービス株 三好 文明 氏
「自動車業界の変化とソニーの取り組み」	ソニーグループ株 大村 隆司 氏

4 若手技術者の育成（会則第 3 条 4 号関連）

(4-1) 若手技術者を集めた会を開催し、技術力の向上を図る

ET ロボコンクラブの活動を支援した。

具体的な活動内容、時間、場所等については参加者にて決定した。

【勉強会】

開催回数	主な開催時間	開催形態
24 回※月 2 回程度土日開催	13:00~18:00	オンライン

【ET ロボコン 2021】

ET ロボコン 2021 アドバンストクラスに初出場し、前半コースは完走。後半の難所でクリアならず、東海地区での成績は 8 位(10 チーム中)という結果だった。

【参加人数】

7 名

5 その他必要な事業（会則第3条5号関連）

(5-1) 総会后特別講演

開催日：2021年4月23日（金）
開催形態：オンライン（Zoom）
主 催：車載組込みシステムフォーラム

【特別講演】

「組込みエレクトロニクス 高速プロトタイピングの歴史
～ネット通販と格安コンピュータ ラズベリー・パイの誕生～」
ZEP エンジニアリング(株) 寺前 裕司 氏

(5-2) PR 活動（他団体主催展示会等への出展、講演等）

以下の他団体主催事業で講演した。0

■第10回全国組込み産業フォーラム

開催日：2021年10月22日（金）
開催形態：オンライン（Zoom Webinar）
主 催：組込みシステム産業振興機構
演 題：車載組込みシステムフォーラム（ASIF）の概要紹介
講演者：車載組込みシステムフォーラム 幹事
ルネサスエレクトロニクス(株) 小菅 康敬 氏

(5-3) 他団体主催事業との共催、後援等

以下の他団体主催事業を後援した。

■自動車分野のサイバーセキュリティ規格 ISO/SEA 21434 制定動向説明会

～法規 UNR155 との関係も含めて～
主 催：(一財)日本規格協会
後 援：車載組込みシステムフォーラム 他
開催日：2021年6月16日（水）
開催形態：オンライン

■第23回 組込みシステム技術に関するサマーワークショップ（SWEST23）

主 催：組込みシステム技術に関するサマーワークショップ 実行委員会
後 援：車載組込みシステムフォーラム 他
開催日：2021年9月2日（木）～3日（金）
開催形態：オンライン

■Learning Embedded software Development Camp（LED-Camp9）

主 催：組込みシステム技術に関するサマーワークショップ 実行委員会
後 援：車載組込みシステムフォーラム 他
開催日：2021年8月30日（月）～9月2日（木）
開催形態：オンライン

■第5回自動車サイバーセキュリティ講座

主 催：(公社)自動車技術会

後 援：車載組込みシステムフォーラム 他

開催日：2021年9月29日(水)～30日(木)

開催形態：オンライン

■第9回自動車機能安全カンファレンス 2021 オンライン

主 催：(株)インプレス

後 援：車載組込みシステムフォーラム 他

開催日：2021年12月8日(水)～10日(金)

開催形態：オンライン

■第7回オートモーティブ・ソフトウェア・フロンティア 2022 オンライン

主 催：(株)インプレス

後 援：車載組込みシステムフォーラム 他

開催日：2022年2月24日(木)～25日(金)

開催形態：オンライン

(5-4) 講座開発SIG

オンライン形態での教育講座を用意させていただき、MBD推進センターのMBD普及推進委員会と連携させていただき、人材育成WGの参加5社に対してオンライン受講いただいた。

MBSEを要件定義から検証までスルーで把握するにはとても有意義な教育との評価をいただいたが、本来5日間のコースを1日に短縮したため、理解が深まらないとの意見もいただいた。

車載組込みシステムフォーラム 2021年度収支決算【見込み】（案）

（期間：2021年4月1日～2022年3月31日）

収入の部

（単位：円）

科目	予算(a)	実績(b)	差額(b-a)	備考
1. 入会金・会費	5,720,000	6,127,000	407,000	
(1)入会金収入	121,000	346,500	225,500	6団体×55千円, 3個人×5.5千円
(2)会費収入	5,599,000	5,780,500	181,500	104団体×55千円, 11個人×5.5千円
2. 事業収入	45,000	205,500	160,500	
(1)セミナー等収入	45,000	205,500	160,500	スキルアップセミナー:非会員分 計6回 ASIFフォーラム2022:非会員、優待非会員分
(2)その他収入	0	0	0	
3. その他収入	0	94	94	
(1)その他収入	0	94	94	銀行預金利息
当期収入額計(A)	5,765,000	6,332,594	567,594	
前期繰越収支差額	5,203,655	5,203,655	0	前年度より繰越
収入合計(B)	10,968,655	11,536,249	567,594	

支出の部

科目	予算(a)	実績(b)	差額(a-b)	備考
1. 事業費	3,060,000	1,404,247	1,655,753	
(1)コミュニティ・運営事業費	300,000	247,880	52,120	webサイト更新管理費等
(2)調査・情報発信事業費	400,000	0	400,000	
(3)セミナー企画・開催事業費	2,040,000	1,112,063	927,937	セミナー・フォーラム会場費・講師費、オンライン会議費等
(4)若手教育事業費	170,000	44,304	125,696	ETロボコン 大会参加費等
(5)その他事業費	150,000	0	150,000	
2. 管理費	3,677,500	3,881,581	▲ 204,081	
(1)事務委託費	2,827,500	3,111,250	▲ 283,750	当期収入の50%、ASIF九州事務委託分（九州収入の25%、中部九州の場合37.5%）
(2)会議費	100,000	0	100,000	
(3)通信費	20,000	12,962	7,038	会員への郵送等
(4)印刷費	10,000	0	10,000	
(5)その他費用	500,000	711,756	▲ 211,756	振込手数料、事務局消費税（見込み）等
(6)Web管理運営費	50,000	25,613	24,387	サーバー維持管理費
(7)総会	170,000	20,000	150,000	特別講演講師費用
3. 固定資産等取得支出	0	0	0	
(1)固定資産等取得支出	0	0	0	
当期支出額計(C)	6,737,500	5,285,828	1,451,672	
当期収支差額(A)-(C)	-	1,046,766	-	
次期繰越収支差額(B)-(C)	-	6,250,421	-	次年度繰越

会計監査の結果、正確であることを確認し、これを承認しました。

2022年 6月 日

監事

監事

2022 年度車載組込みシステムフォーラム
役員候補者名簿（案）

会長

名古屋大学 大学院情報学研究科 教授 高田 広章

副会長

(株)アイシン 電子センター ソフトウェア基盤技術部 主席技術員 間瀬 順一 新任

幹事

アイシン・ソフトウェア(株) 取締役 河合 浩明

(株)アドヴィックス ソフトウェア技術部 部長 山本 良政 新任

(株)ヴィッツ ソフトウェア開発事業領域 執行役員 服部 孝治

(株)SRA 中部事業部 部長 土屋 広樹

(株)クレスコ テクノロジーソリューションコンサルティング
テクニカルエバンジェリスト 井上 祐寛

(株)サニー技研 ビジネス企画部 部長 乾 正樹 新任

(株)デンソー 電子 PF ソフトウェア開発部 担当部長 中垣 良夫

(株)デンソークリエイト 事業推進部 シニアマネージャ 脇 義昭

東海エレクトロニクス(株) 執行役員 技術本部 副本部長 檜木 省蔵 新任

(株)東海理化 エレクトロニクスビジネスセンター 設計基盤技術室 室長 稲垣 修

トヨタ自動車(株) 車両デジタル開発部 制御デジタル改革室 主査 城戸 正利

萩原エレクトロニクス(株) エンジニアリングソリューション本部
ソフトウェアソリューション部 部長 鹿子 健司

ビジネスキューブ・アンド・パートナーズ(株)
コンサルティング事業部 コンサルタント 中武 俊典

菱電商事(株) デバイスシステム事業本部 第三技術部 技術グループ 松村 保明

<九州担当>

(株)アイシン・ソフトウェア パワートレイン制御開発部
第4パワトレ開発室第2グループ グループ長 上田 孝信 新任

監事

(株)豊田自動織機 技術・開発本部 EC開発部 小林 貢 新任

ルネサスエレクトロニクス(株) 車載ソフトウェアプラットフォーム開発部
車載ソフトウェア開発統括部オートモーティブソリューション事業本部
シニアプリンシパルスペシャリスト 小菅 康敬 新任

事務局長

(公財)中部科学技術センター イノベーション創出支援室 室長 中島 敏夫

以上

車載組込みシステムフォーラム 2022年度 事業計画 (案)

車載組込みシステムフォーラム(以下、ASIF)において、2022年度(2022年4月22日～2023年3月31日)に実施を計画している事業は次の通り。

1. コミュニティ作り・運営 (会則第3条1号関連)

(1-1) 一般向けのウェブサイトの運営・保守

本フォーラム活動において、オープン情報として公開可能な情報は、本フォーラムのWEBサイトを通じて情報を発信する。また、このサイトの運営・保守を行なう。

(1-2) 会員向けのウェブサイトの運営・保守

会員の活動において開発成果物の管理サイトを運営および保守を行なう。

2. 調査・情報発信 (会則第3条2号関連)

(2-1) 勉強会活動

(ASIF 中部)

年間2ラウンド(第1ラウンド(6・7・8月)第2ラウンド(11・12・1月))実施する。

【開催テーマ及びリーダー企業 (順不同)】全14テーマ

開催テーマ	リーダー企業
CAN/CAN FD 通信仕様	(株)安川電機
MISRA-C 2012	アイシン・ソフトウェア(株)
モデルベース開発(MATLAB)	(株)ヴィッツ
アジャイル開発(スクラム)	(株)デンソー
機能安全規格(ISO26262 新バージョンの概要と実践)	ビジネスキューブ・アンド・パートナーズ(株)
車載開発プロセス(AutomotiveSPICE3.0を活用したアセスメントのノウハウ)	ビジネスキューブ・アンド・パートナーズ(株)
Automotive SPICE for Cybersecurity Engineering	ビジネスキューブ・アンド・パートナーズ(株)
クラシック AUTOSAR	(株)豊田自動織機
車載セキュリティ(ISO21434 概要)	ビジネスキューブ・アンド・パートナーズ(株)
Python を用いたディープラーニング	(株)クレスコ
クラウドで動かすAI(画像/音声認識、自然言語処理)	(株)クレスコ
ラズベリーパイで動かすエッジAI	(株)クレスコ
ソフトウェアファースト	(株)アイシン、(株)東海理化電機製作所
Hypervisor 仮想化技術	(株)デンソー

(ASIF 九州)

年間2ラウンド(第1ラウンド:上期中、第2ラウンド:下期中)を目処に実施する。

ASIF九州参加企業(現状6社・団体)において持ち回りでクルマに関するテーマで発表を行い、ディスカッションを行うという形で実施する。

また、セミナー形式の勉強会の実施もあわせて計画する。

(詳細はASIF九州運営委員会にて協議のうえ決定する予定)

3. セミナー企画・開催(会則第3条3号関連)

(3-1) スキルアップセミナーの開催

車載開発初級技術者向けの自動車技術の基礎知識に関するセミナーを企画・運営する。

(3-2) 応用技術セミナーの開催

車載開発上級技術者向けに最新技術や、欧州など海外動向に関するセミナーおよび他業界技術等に関する教育セミナーを企画・運営する。

(3-3) PRセミナーの開催

会員が企画するプロモーションセミナーを開催し、会員間の交流や情報提供の場を設ける。

(3-4) フォーラムの開催

2022年1月に開催した車載組込みシステムフォーラム2022と同様の車載開発の中心である中部地域の利点を活かした最新技術や業界最新動向といった内容に加え、15周年記念イベントも併せて開催する。

4. 若手技術者の育成(会則第3条4号関連)

(4-1) 若手技術者を集めた会を開催し、技術力の向上を図る

ETロボコンクラブを支援する。

以下の内容で活動予定

具体的な活動内容、時間、場所等については参加者にて決定する。

【勉強会】

開催回数	主な開催時間	開催場所
24回※月2回程度土日開催	13:00~18:00	オンライン・集合 併用

【ETロボコン2022】

ETロボコン2022 東海地区大会のアドバンストコースへ出場し、完走、難所クリアを目標とする。

5. その他必要な事業（会則第3条5号関連）

(5-1) 総会後の特別講演

総会開催後、特別講演を実施する。

(5-2) PR 活動（他団体主催展示会への出展、講演）

必要に応じ実施する。

(5-3) 他団体主催事業との共催、後援等

必要に応じ実施する。

(5-4) 講座開発SIG

MBD推進センターのMBD普及推進委員会で検討を進められている教育の全国展開について連携させていただき、支援していく。

（詳細計画が分かった時点でASIF側にお知らせする）

車載組込みシステムフォーラム 2022年度収支予算（案）

（期間：2022年4月1日～2023年3月31日）

収入の部

（単位：円）

科目	2021年度予算(a)	2022年度予算(b)	増減(b-a)	備考
1. 入会金・会費	5,720,000	5,901,500	181,500	
(1)入会金収入	121,000	121,000	0	2社×55千円, 2個人×5.5千円
(2)会費収入	5,599,000	5,780,500	181,500	104団体×55千円, 11個人×5.5千円
2. 事業収入	45,000	45,000	0	
(1)セミナー、フォーラム 参加費収入	45,000	45,000	0	スキルアップ, 応用技術セミナー：非会員 10名×3千円 ※5回 ASIFフォーラム2021：非会員2名×5千円, 優待非会員 2名×2.5千円
(2)その他収入	0	0	0	
3. その他収入	0	0	0	
(1)その他収入	0	0	0	
当期収入額計 (A)	5,765,000	5,946,500	181,500	
前期繰越収支差額	5,203,655	6,250,421	1,046,766	前年度より繰越
収入合計 (B)	10,968,655	12,196,921	1,228,266	

支出の部

科目	2021年度予算(a)	2022年度予算(b)	増減(b-a)	備考
1. 事業費	3,060,000	4,560,000	1,500,000	
(1)コミュニティ・運営事業費	300,000	300,000	0	webサイト更新管理費等
(2)調査・情報発信事業費	400,000	400,000	0	勉強会活動費、勉強会会場費等
(3)セミナー企画・開催事業費	2,040,000	3,540,000	1,500,000	・スキルアップ, 応用技術セミナー 計5回 分(会場@120千円×5回、講師@40千円× 15名) ・九州活動費(講師@60千円×2名) ・ASIFフォーラム2022(会場@310千円、 講師@60千円×4名) ・15周年記念イベント：1500千円 ・オンライン会議費(Zoom@25千円×6 回)
(4)若手教育事業費	170,000	170,000	0	ETロボコン：消耗品、会場費、大会参加 費等
(5)その他事業費	150,000	150,000	0	他団体との共催に係る会場費、講師費等
2. 管理費	3,677,500	3,968,250	290,750	
(1)事務委託費	2,827,500	2,918,250	90,750	当期収入の50%, ASIF九州事務委託分(九 州収入の25%、中部九州の場合37.5%)
(2)会議費	100,000	100,000	0	交流会への講師・事務局参加費等
(3)通信費	20,000	20,000	0	会員への郵送等
(4)印刷費	10,000	10,000	0	チラシ印刷等
(5)その他費用	500,000	700,000	200,000	幹事会会場費、振込手数料等、事務局消費 税等
(6)Web管理運営費	50,000	50,000	0	サーバー維持管理費
(7)総会	170,000	170,000	0	
3. 固定資産等取得支出	0	0	0	
(1)固定資産等取得支出	0	0	0	
当期支出額計 (C)	6,737,500	8,528,250	1,790,750	
当期収支差額 (A) - (C)	▲ 972,500	▲ 2,581,750	▲ 1,609,250	
次期繰越収支差額 (B) - (C)	4,231,155	3,668,671	▲ 562,484	次年度繰越